

過去3年分の評価総括(中間見直しに反映すべき内容等)

施策番号	施策名	会議年度	会議	部会	指摘事項等	会議中の所管課等の回答	対応	理由
6	安全で快適な道路の整備	H25	第2回	安全	指標に対する説明不足が一部において見られる。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標説明を「優先整備路線総数44路線」に変更	—
		H26	第2回	安全	道路整備実施計画の進捗について	分母は優先整備路線44路線の17,300mとなっているが、分かりにくいとの指摘を受けている。中間見直しで検討していきたい。	施策指標を「優先整備路線における改良実施路線数」に変更	—
9	計画的な公園の整備と維持管理の充実	H25	第4回	安全	市民一人当たりの公園面積について	一人当たりの公園面積を指標として設定しているが、これは公園面積の総量を目標としていないため、人口が増えていくことで、一人当たりの公園面積の実績値が減少していく懸念もある。	対応なし	区画整理事業による公園整備に加え、現在進行中のアーバンアクア公園(約80,000㎡)の整備が完了すれば、一人当たりの公園面積が増加することになる。
15	地域と連携した教育の推進	H26	第2回	安心	不適当な指標は直すべき。 ①・②・③全てについて。 ※具体的に:状況に応じて、学校応援団だけでなく、PTAも含めた指標を作るべきではないか。	特に、③の指標については既に100%の達成率になっているため次年度以降見直しを検討したい。	対応なし	他に、この指標に代わる適切な指標がなく、今後も「学校応援団への協力者数」を増やし、地域と連携を図った教育を推進していく必要があるために、指標の見直しは行わなかった。
17	放課後児童の居場所づくりの推進	H26	第7回	安心	参加児童数と開催日数を掲げる必要がある。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「教室開催数」及び「参加児童数」を施策指標に追加	—
19	安全な学校教育環境の整備	H24	第5回	安心	地域の協力の進捗状況が把握できる指標を設定し、また、地域の協力をどのように活用していくのかを明確にすること。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標には入れていないが、課題には残している。	市は、平成25年度に募集をかけたが、地域の方の賛同がなく、制度活用には至らなかった。しかし、地域の方々のご協力により、引き続き児童を見守っていただきたいため、地域との協力等という文言は残した。

施策番号	施策名	会議年度	会議	部会	指摘事項等	会議中の所管課等の回答	対応	理由
20	小中学校の配置・規模の適正化の推進	H24	第2回	安心	人数の多い学校と少ない学校の差を指標とするなど、施策の目的や課題等を表すような指標とすべき。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	大規模校となっている白子小児童数を指標として見直す	—
		H25	第2回	安心	児童生徒数の偏りを把握するために、児童生徒数の多い学校に加えて、生徒数の少ない学校、学校建設の影響を受ける学校について児童生徒数を指標として設定すべき(新倉小、北原小、第二中)。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標には入れていないが、「各校の児童・生徒数」を施策評価表の補足指標に記載	—
30	男女共同参画社会の実現	H25	第5回	安心	現在の指標だけでは実績値が取れないのであれば、達成度を評価できるように補足指標を検討してほしい。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「セミナー開催数」を施策指標に追加	—
31	国際化の推進	H26	第5回	安心	指標として掲げている国際交流イベントの対象について、地域防災訓練以外の事業についてもカウントするように精査すべき。	部会評価による指摘のため回答無し	施策指標に反映済み	
32	多様な保育サービスの推進	H26	第3回	安心	担当所管課における施策指標等についての認識(目的、理由など)が低い。なぜその指標を選定したのか、その指標の結果を所管課としてどのように捉えているのか説明できることが必要。	部会評価による指摘のため回答無し	見直しを検討	—
35	子育て家庭への経済的支援	H24	第6回	安心	父子家庭を対象とした支援について把握するための指標が必要ではないか。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「母子家庭」から「ひとり親家庭」に指標を変更	—

施策番号	施策名	会議年度	会議	部会	指摘事項等	会議中の所管課等の回答	対応	理由
36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	H24	第2回	安心	要介護認定人口が減少しているという成果を現す新たな指標について、今後設定を検討してほしい。	今後検討したい。	指標には入れていないが、「65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者(第1号)の割合」を施策評価表の補足指標に記載	—
		H25	第3回	安心	要介護認定人口が減少している成果を表す指標を再度検討してほしい。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標には入れていないが、「65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者(第1号)の割合」を施策評価表の補足指標に記載	—
					施策指標「健康診査受診率」について、現状の実績値からは平成27年度目標値「50%」を達成するのは難しいと感じられるので、目標達成のための実効性のある取組を検討してほしい。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「健康診査未受診者に対する訪問調査件数」に指標を変更	—
		H26	第2回	安心	健診にも相談室にも行っていないハイリスクの方の把握ができるような指標の開発が必要だと思う。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「健康診査未受診者に対する訪問調査件数」を施策指標に追加し、ハイリスク者の把握に努める	—
43	健康で元気になる食育の推進	H25	第6回	安心	「健康教室への参加者数」は算出方法が変更されているため、また施策指標「食生活の満足度の割合」はアンケートが実施されていないため、評価の妥当性を判断することが困難。食育推進計画では、多くの数値目標が掲げられているが、それらを指標に設定できないか。 最終年度の目標に対して、途中の実績値がない指標は設定すべきではない。他の指標の設定(毎年度評価できる指標)が必要。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標には入れていないが、「食育イベントへの参加協力数」を施策評価表の補足指標に追加	—
44	安心できる健康づくりの推進	H25	第6回	安心	保健指導実施者のメタボ改善率について、この数値では市の取組により保健指導を何人が受診し、何人が改善したのか把握できない。また、数値結果にも増減があり、施策の達成状況を図る指標として不十分である。補足指標として、特定健診受診率や保健指導実施率を設定すべき。また、増加させることをトレンドとした指標であるが、各年度の目標設定が増減している。中間、最終目標数値を捕らえた毎年度の目標数値を設定すべき。	部会意見のため回答なし	「特定健診受診率」及び「保健指導実施率」を施策指標に追加	—

施策番号	施策名	会議年度	会議	部会	指摘事項等	会議中の所管課等の回答	対応	理由
47	国民年金の普及	H26	第7回	安心	窓口相談件数等を指標として追加すべき。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	「相談件数」を施策指標に追加	—
50	コミュニティづくりの推進	H24	第3回	安心	市が自治会加入率の増加について取組を実施していることが分かる指標として、例えば、自治会新規設置数などを出したほうが分かりやすいのではないかと。	部会評価による指摘のため会議中の回答無し	指標には入れていないが、「新規自治会設立数」を施策評価表の補足指標に記載	—
		H25	第3回	安心	施策50に限らず、アンケート調査結果を施策指標として掲げている施策については、調査を実施しない年度に関する標記を「—」とするなど、統一する必要がある。	※全体に関する意見	指摘のとおり対応する	—